

情勢報告（令和6年4月分）

中央東農業振興センター嶺北農業改良普及所

国際水準GAPの実施に向けた準備を進めました ～シントウ部会作付け検討会～



作付け検討会の様子

3月22日、JA高知県れいほく支所でシントウ部会作付け検討会を開催し、生産者12人が出席しました。

普及所からは定植前後の栽培管理について説明したほか、JAと共同で作成した農薬一覧・価格表を配布し栽培中の防除徹底を促し、併せて農薬事故の防止を呼びかけました。

本検討会では、次作より部会で取り組む国際水準GAPに向けて台帳や掲示物の作成などの準備が生産者が主体となり進められ、普及所もサポートを行いました。

普及所では今後もJAと連携して、部会活動や国際水準に係る取組を支援していきます。

無農薬ユズの有機栽培化に向けて ～令和5年度第2回嶺北地域果樹（ユズ）産地協議会～



産地協議会の様子

3月26日、JA高知県れいほく支所で第2回嶺北地域果樹（ユズ）産地協議会を開催し、生産者代表・役場・JA・普及所から計13人が出席しました。

会では、令和5年度活動実績の共有や令和6年度活動計画の協議が行われ、普及所からは、管内ユズ生産者の園地情報等を取りまとめた実態調査の結果や、産地協議会で実施した生産者意向調査の結果を報告したほか、ユズ果汁の生産拡大・高付加価値化に向けた産地づくりを目指すため、無農薬ユズの有機栽培化の提案を行いました。

出席者からは、「地元で作られている牛糞堆肥をユズ栽培でも活用できるようにしてほしい」、「ユズ加工品で使用する青トウガラシを安定確保するために地元で栽培出来ないか」など、嶺北地域のユズ産地が抱える様々な課題に対して意見が出され、有機栽培化については産地協議会で取り組んでいくことが取り決められました。

今後も普及所は生産者や関係機関と連携して、ユズ生産の維持拡大に向けた様々な取組を推進していきます。

夏場の高品質花きの生産を目指して ～れいほく花き部会現地検討会～



栽培ほ場にて栽培管理について活発に意見交換

4月11日、JA高知県れいほく花き部会が現地検討会を開催し、生産・JA・普及所から計11人が出席しました。

部会員の栽培品目はトルコギキョウ、ブプレウラム、ユリ、サンダーソニア、リモニウム、とそれぞれ異なりますが、生育状況を見ながら栽培管理について活発に意見交換がされました。

普及所からは高温対策について説明し、遮熱資材の実証試験計画について情報提供しました。

出席者からは「嶺北の冷涼な気候をいかして、新規品目にも挑戦しながら、夏秋期に品質の良い花きを生産していきたい」という声が聞かれました。

今後も普及所は生産者や関係機関と連携して、花き生産の振興に取り組んでいきます。

将来ビジョンの実行に向けて
～本山町農村みらい会議総会～



総会の協議の様子

4月11日、本山町農村みらい会議総会が開催され、会議構成員・会議推進員及び関係組織等の28名が参加しました。普及所は同日、総会前に開催されたサポートチーム会から参加し、機械の共同利用等、農地保全に係る内容について助言しました。

総会では、実証活動で取り組んだ結果や今後の課題、次年度の取り組み内容について意見が交わされ、令和6年度の実証計画が決定されました。

普及所は、今後もサポートチーム員として本山町の将来ビジョンの実行支援をしていきます。